

# 「対馬丸」の無念 映画で知って

## 1400人犠牲描いた「銀の鈴」

米潜水艦の攻撃で1400人以上の犠牲者を出した学童疎開船「対馬丸」を描いた映画「銀の鈴」が完成し、21日、大阪府で上映される。家族4人を失った西岡利美さん(83)は大阪府港区は国が沈没の事実を隠そうとしたため、4人の死亡をいまだに公式に伝えられていない。「一人でも多くの人に犠牲になった人のことを知ってほしい」と願う。(染田屋竜太)

「こんな映画を作って下さって、ほんまにありがたい」。西岡さんは大阪市内で12日に開かれた試写会に招待され、監督の齋藤勝さん(50)に頭を下げた。軍は生存者に「沈



対馬丸で亡くなった家族の写真を見せながら齋藤勝監督と話す西岡利美さん(左)は大阪府天王寺区

### 大阪できょう上映 家族失った西岡さん訴え

没したことは絶対に口外するな」と命令。子供の安否も分からず苦しむ親らを若手の俳優が演じる。

「母さんたちを疎開させた船が沈没したらしい」。西岡さんは就職していた香川県・小豆島で終戦後、訪れた父から知らされた。父は母の形見の髪の手十数本を握りしめていた。弟は2歳と7歳。妹は12歳。父もうわさで沈没を聞いただけだった。

家族4人は「失踪宣告」を受け、50年に死亡が確定。西岡さんは70歳を過ぎ、沖縄で慰霊祭が開かれていると知った。訪れると生存者が少しずつ語ってくれた。「小さい子供がおったから、奥の方に追いやられていた。苦しかったろう」

齋藤監督の叔父も兵員輸送船の沈没で亡くなり、その船が対馬丸の僚船だったことが映画化のきっかけだった。「これからは事件を人々に訴える方法を考えていきたい」

21日午前11時と午後3時、大阪府天王寺区上汐5丁目のクレオ大阪中央の4階セミナーホールで。問い合わせは劇団ARRK(090・7116・7548)へ。